

# 都市別データ：チェンマイ県（タイ）

## ①基礎情報

チェンマイ県は、タイの首都バンコクから北に700 kmに位置し、古い歴史と伝統・文化を有するタイ第二の都市である。タイ北部の中核都市（行政、経済、産業、文化の中心地）と呼ばれる。標高1000 mクラスの山々に囲まれた高原の中央にあり、チェンラーイ県、ランブーン県、ランパーン県、ターク県、メーホンソーン県と接し、ミャンマーとの国境を有する。

### ■ 人口

2017年のチェンマイ県の人口は170万人を超えており、県別で全国第6位。

### ■ 面積

チェンマイ県の面積は20,107平方km。

### ■ 経済

チェンマイ県県民総生産額は2,317億2600万バーツであり、タイの国内総生産（GDP）の約1.5%を占める。一人当たりのGDPは、約13万6千バーツ（2017年）。その内訳は、第1次産業：17.60%、第2次産業：8.85%、第3次産業：73.55%となっており、農業を中心とする第一次産業の割合は既に20%以下となり、趨勢的に減少している。その一方で、チェンマイ市は有名な観光都市であるため、観光業を中心とした第3次産業の比率が高くなっている。最近の経済の動きとしては、政府による一村一品運動により、地域の特産品を推奨して地域経済の活性化を図っている。<sup>1</sup>



図1. チェンマイ県の位置

出典：Wikipedia

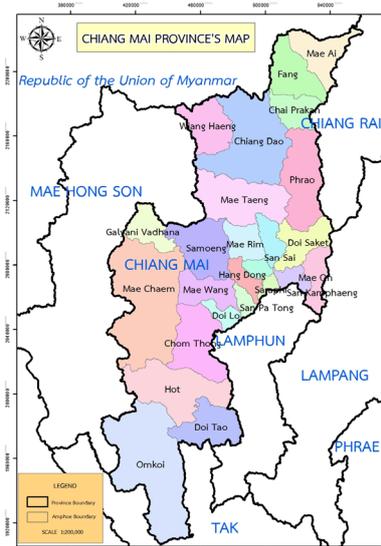


図2. チェンマイ県地図

出典：Chiangmai Provincial

<sup>1</sup> 在チェンマイ日本国総領事館 [https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/keizai\\_s.html](https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/keizai_s.html)

## ■ 行政機関

タイの地方行政制度は、県（ジャンワット）、郡（アンプー）、町（タンボン）、村（ムーバーン）という順に細分化される地方行政区分が存在する。タイは中央集権の色彩が強く、チェンマイ県知事及び各々の郡長は、日本のような選挙で選出される地方公務員ではなく、中央政府から派遣される内務省の常勤公務員である。チェンマイ県には25郡が置かれている。その他、人口密集地域には、市（テーサバーン）と呼ばれる自治都市が設置されており、例えばチェンマイ市の市長は、市民の直接選挙によって選出されている。<sup>2</sup>

チェンマイ県には28の地域行政機関、211の地方行政機関がある。主な専門機関の所在地やホームページは以下の通りである<sup>3</sup>。

機関名（関連部署）	所在地
チェンマイ県自治体 Chiangmai Provincial Administration Office	Chiangmai-Mea Rim Highway [107] (Chotana rd.) rd., Chang Phuak, Muang district, Chiang Mai 50300 URL: <a href="https://www.chiangmaipao.go.th/">https://www.chiangmaipao.go.th/</a>
チェンマイ県工業局 Chiangmai Provincial Industry Office	Chicana Road, Chang Phueak, Mueang Chiang Mai, Chiang Mai 50300 URL: <a href="https://chiangmai.industry.go.th/th">https://chiangmai.industry.go.th/th</a>
チェンマイ県農業普及局 Chiangmai Agricultural Extension Office	Chiangmai-Mea Rim Highway (Chotana rd.) (Chiang Mai Provincial Hall) rd., Chang Phuak, Muang district, Chiang Mai 50300 URL: <a href="http://www.chiangmai.doe.go.th/web2020/">http://www.chiangmai.doe.go.th/web2020/</a>
チェンマイ県統計局 Statistical Office Chiangmai	Chiang Mai Government Center, Chiangmai-Mea Rim Highway (Chotana rd.) (Chiang Mai Provincial Hall) rd., Chang Phuak, Muang district, Chiang Mai 50300 URL: <a href="http://web.nso.go.th/">http://web.nso.go.th/</a>
チェンマイ県エネルギー局 Energy Office Chiangmai	Chiang Mai Government Center, Chiangmai-Mea Rim Highway (Chotana rd.) (Chiang Mai Provincial Hall) rd., Chang Phuak, Muang district, Chiang Mai 50300
北部地方電力公社 Provincial Electricity authority (notth)	Chiang Mai-Lamphun [106] rd., Wat Ket, Muang district, Chiang Mai 50000
州水道局 Provincial Waterworks Authority	330, Superhighway Chiangmai-Lumpang [11] rd., Patan, Muang district, Chiang Mai 50300 URL: <a href="https://www.pwa.co.th/province/branch/5510211">https://www.pwa.co.th/province/branch/5510211</a>
天然資源・環境省（チェンマイ県） Ministry of Natural Resources and Environment (Chiangmai)	2nd floor, Chiang Mai Province, Chiangmai-Mea Rim Highway (Chotana rd.) (Chiang Mai Provincial Hall) rd., Chang Phuak, Muang district, Chiang Mai 50300 URL: <a href="http://www.mnre.go.th/">http://www.mnre.go.th/</a>

<sup>2</sup> 在チェンマイ日本国総領事館 [https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/keizai\\_s.html](https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/keizai_s.html)

<sup>3</sup> Chiangmai Provincial Administrative Organization [https://www.chiangmaipao.go.th/en/about\\_chiangmai.php](https://www.chiangmaipao.go.th/en/about_chiangmai.php)

## ■ 日本政府関連機関

機関名	所在地	ウェブサイト
在チェンマイ日本国総領事館	Consulate-General of Japan in Chiang Mai, Airport Business Park, 90 Mahidol Rd., T.Haiya, A.Muang, Chiang Mai 50100, Thailand	URL: <a href="https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/keizai_s.html">https://www.chiangmai.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/keizai_s.html</a>

## ② 気候変動に関連する政策

### ■ 開発計画

タイ政府は 2015 年に、タイが長期的に目指すべき経済社会のビジョンとして「タイランド 4.0 (Thailand 4.0)」を策定した。タイランド 4.0 とは、これまでのタイの経済社会発展を 3 段階に区分し、2036 年までの 20 年間に目指す目標を第 4 段階として示したものであり、「イノベーション」、「生産性」、「サービス貿易」をキーワードに持続的な付加価値を創造できる経済社会を目指し、経済成長を加速させ、先進国入りを果たすという野心的なビジョンである。

#### インフラ整備

チェンマイにおける交通は道路交通に依存しており、ピーク時間帯の激しい渋滞や多発する交通事故が問題視されている。その対策には、私的道路交通への依存度を下げる公共交通の整備が必要とされている<sup>4</sup>。これを受けてチェンマイでは、2017 年に新たな公共交通マスタープランが策定された。この計画では、公共交通システムを幹線、郊外路線、支線の 3 段階で構成することを基本コンセプトとしている<sup>5</sup>。これまで大量輸送システムに関して様々な議論がなされてきたが、最新の計画では、3 本のライトレールの案が提案されている（下図参照）<sup>6</sup>。

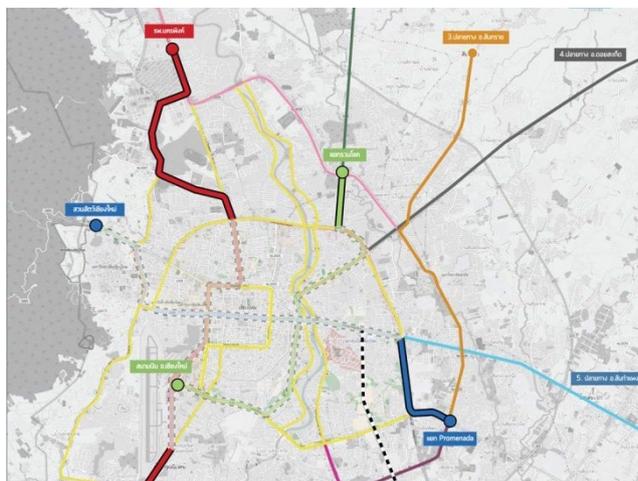


図 3. チェンマイ ライトレイル交通システムの提案図

出典：Future Southeast Asia (<https://futuresoutheastasia.com/chiang-mai-mass-transit/>)

<sup>4</sup> チェンマイの交通状況と交通計画、紀伊雅信、運輸政策研究 Vol.21 2019

<sup>5</sup> チェンマイの交通状況と交通計画 [https://www.jttri.or.jp/members/journal/assets/no77\\_overseas-com02.pdf](https://www.jttri.or.jp/members/journal/assets/no77_overseas-com02.pdf)

<sup>6</sup> Future Southeast Asia (February 24, 2020) <https://futuresoutheastasia.com/chiang-mai-mass-transit/>

## スマートシティ開発

タイのスマートシティ開発は、「タイランド 4.0」に位置づけられ、2022 年までに 100 都市のスマート化を目指すとしている。デジタル経済振興機関(DEPA)により進められているスマートシティ開発の対象となっているチェンマイでは、タイ通信会社(CAT)、DEPA タイ北部局が共同で立ち上げ、3期にわたる計画で都市開発が進められた<sup>7,8</sup>。

## ■ 気候変動対策

タイ国政府は、「第 11 次国家経済社会開発計画」(2012～2016 年)において、「公平・公正で柔軟性を備えた幸福な社会の実現」を目標に掲げ、人材の育成や安全な天然資源確保のための環境基盤の構築等を、国家としてのミッションと定めている。細則では、「環境面で持続可能な、低炭素経済、低炭素社会に向けたパラダイムシフト」を目標に、以下のような戦略が記されている。

1. GHG 排出量の大きい産業の低炭素化に向けた技術の向上
2. 低炭素工業により有利になるような政策の見直し
3. システムティックに廃棄物がリサイクルされ、原料化されるエコ・インダストリアルタウンの実現を通じた、コミュニティと産業の共存の促進

また、タイ政府は、気候変動対策として、「気候変動マネジメントに係る国家戦略」を 2008 年に策定し、2012 年に改定している。さらに、2012 年には、「タイ国気候変動マスタープラン」を策定し、GHG 排出量および排出源の緩和を通じて、持続可能な発展を促進する方針が示されている<sup>9</sup>。

チェンマイ県では、国の関連政策に準じて気候変動対策を実施している。チェンマイ県は、都市環境の改善に繋がる取組を実施することで国の政策に貢献している。例えば、都市関連事業で連携する北九州市とのエコタウン事業が挙げられる。このほか、「持続可能な都市交通」と呼ばれる低炭素イニシアチブも、チェンマイ県によって推進されている<sup>10</sup>。

## ■ 廃棄物関連政策

タイの固形廃棄物管理 (SWM) に関係する規制の枠組は、国家レベル、州レベルおよび 地方レベルの 3 つのレベルに分類することができる。チェンマイ県の都市固形廃棄物は県内 210 の行政区から年間 60.5 万トンが発生している。収集運搬は県内 210 の行政区の内、149 の自治体が直接もしくは民間企業に委託する形で収集を行っている一方、61 の行政区は収集運搬を実施していない。収集運搬されている廃棄物量は年間 48.6 万トンである。収集された廃棄物の運搬先は、リサイクル品買い取り店や再利用施設への搬送が年間 16.6 万トン、残りの 25.3 万トンが最終処分場に搬送され処理・処分されている。最終処分については、Wiagn Fang に Engineering Landfill、Doi Saket と Hort にそれぞれ Sanitary Landfill があり、いずれかへの搬送が行われているものと推察される。

<sup>7</sup> Smart City ～タイの未来都市構想図～, NC network, <http://u-machine.net/sp/feature/article/610>

<sup>8</sup> 特集：動き出したアジアのスマートシティ構想, JETRO,

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2019/0801/2a3db5f0d050195c.html>

<sup>9</sup> 平成 30 年度低炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務（新設団地におけるエコ・インダストリアルタウン推進を通じた低炭素化促進事業／北九州市－チェンマイ県・IEAT・DIW 連携事業）報告書、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

<sup>10</sup> 低炭素都市プロファイル 都市間連携事業参加都市の取組、環境省、IGES

タイ国における廃棄物の適正管理は、内務省、並びに天然資源環境省が中心となって推進されている。両省で国家計画を策定し、同計画を県に通知、計画に示される目標達成のための計画を各県毎に作成することになっている。県は中央省庁の出先機関として、県内の各地域で廃棄物管理を所管する地方自治体から情報収集を行うと共に、計画策定、管理支援などを行っている。また政府は都市固形廃棄物適正管理のための広域化(クラスター化)を推進している<sup>11</sup>。

### ③ 政治的な動向

#### ■ 首長・市長の方針

チェンマイ県において、気候変動分野における首長の明確な方針は未確認だが、上述の通り交通分野が温室効果ガス（GHG）の大きな排出源（チェンマイ市からの CO2 排出量の 26%を占める）であることから、低炭素型の交通政策の検討を進めている。具体的には、市の中心部を対象に Non-Motorized Transport（自転車）を導入することで、GHG の削減のみならず、観光分野での経済効果も期待されているところである<sup>12</sup>。

#### ■ カーボンニュートラル宣言など

現時点でチェンマイ県においては、カーボンニュートラル宣言は行われていない。

以上

<sup>11</sup> 平成 29 年度低炭素社会実現のための都市間連携に基づく JCM 案件形成可能性調査事業（タイ国チェンマイ県東郷廃棄物管理計画における高効率廃棄物処理施設導入調査）報告書

<sup>12</sup> Sustainable Mekong Research Network <https://www.weadapt.org/sites/weadapt.org/files/legacy-new/placemarks/files/52ce990b6c84f09-policy-brief-urban-tourism-thailand.pdf>